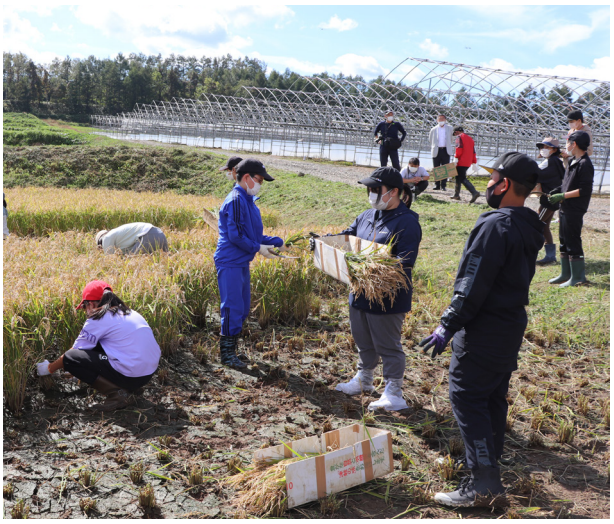
稲刈りの授業



９月26日、ぴりかファームにて今金小学校５年生による稲刈りの授業が行われました。

この稲刈りは、春に児童達で植えた苗を収穫する事によって、苗の成長の様子を学ぶとともに、収穫の喜びを体験する事などを目的として実施されています。

児童達は手作業で稲刈りを行い、機械の無い昔の農業の苦労や、生産者の苦労によって自分達の食生活が支えられている事を学びました。

秋の交通安全啓発活動

９月21日にAコープいまかね、９月30日にイエローグローブ今金店の店舗前にて、秋の交通安全運動（９月21日～30日）の実施に伴う交通安全啓発活動が行われました。

交通安全協会の会員とせたな警察署員を中心に啓発物品を手渡しながら、交通安全意識を高めるため「夕暮れ時におけるライトの早めの点灯をお願いします」などと声かけをしていました。

店舗前での啓発活動終了後は道路に並び、通行する車のドライバーに対して、旗波の啓発活動が行われました。



今金高等養護学校マラソン大会

10月14日、今金高等養護学校マラソン大会が行われました。当日は晴天に恵まれ、絶好のマラソン日和となりました。

しっかりと準備体操を終えた生徒たちは、３、５、７、10kmの４つのコースに分かれて順番にスタートをしました。コースには街頭応援所や給水ポイントが設置され、地域の方や保護者からの「がんばって」という声援に生徒は「はい」と元気よく応えながら、精一杯走っていました。



認定こども園いまかね踊り披露



10月１日、認定こども園いまかねにて年長児（26名）による踊りが10曲、午前と午後の２回披露されました。例年であれば、今金八幡宮例大祭（秋祭り）踊り山にて披露していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により踊り山運行が中止となり、今年度も昨年同様に「踊り披露」という形での開催となりました。

また、鳳凰山（秋祭りを盛り上げる会）と青栄山（商工会青年部）の協力のもと、きらびやかにかざられた踊り山がこども園に準備され、多数の保護者、観客に見守られながら練習を重ねてきた踊りが披露されました。

なおみちカフェ

10月18日、今村公園に鈴木直道北海道知事を招いて「なおみちカフェ」が開催されました。
「なおみちカフェ」とは、鈴木知事が地域の創意工夫ある取り組みについて、視察や懇談などを通じて広く発信するものです。
懇談には、外崎秀人町長と今村公園を整備・管理しているボランティアチーム「今村公園再生プロジェクトの会」から新保力男事務局長、大倉孝之副会長が出席し、今村公園が作られた経緯や展示品などの説明をしました。
また、鈴木知事は公園内で遊んでいる子ども達と交流し「子ども達にとっても良い場所になっているのですね」と話していました。



子どもの文化財愛護活動推進事業



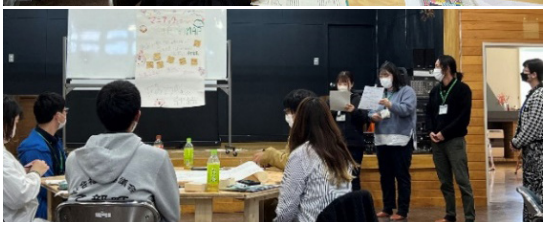
10月17日、今金中学校の1年生（36名）を対象に「ピリカカイギュウについて」の出前授業（主催：北海道文化財保護協会）が行われました。
この取り組みは、平成14年度から地域の生活文化の伝承や文化財を愛する心を育て、文化財愛護の普及・啓発を図るため、全道の小中学校に講師を派遣し実施されているものです。
授業は北海道教育大学名誉教授の木村方一氏を講師に招き、ピリカカイギュウの資料をスライドで映しながら行われ、生徒達は今金町の文化財の話しを興味深く聞いていました。

地域おこし協力隊　榊原、角谷、本田、矢原の『いまかね日誌』

皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の榊原です。
先日、道南地域おこし協力隊の研修会が八雲町でありました。
研修では、名の道南で活動する協力隊が集まりました。八雲町の廃校をリノベーションした施設「ペコレラ学舎」で、現役隊員（八雲町）による事例発表と、モルック体験、道南が盛り上がるには？などのワークショップを行ないました。
この研修を通して、協力隊の道南ネットワークの必要性を強く感じました。協力的な仲間と主力メンバーで土台を作りながら今金町を含む道南地域をますます盛り上げていきたいと思います。
そのために、地域おこし協力隊として道南の隊員を巻き込みながら、イベントを行いたいと企画しています。開催が決定した際にはまたお知らせしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私たち地域おこしの普段の活動やイベント等の情報はHP「いまCh.」、インスタグラムで更新しています。今見ることができる今金町、今しか見られない今金町を「＃今みる今金」としてＳＮＳで発信していますので、是非ご覧ください。





▲研修風景

InstagramのID→@imakanetiikiokoshi（地域おこし協力隊　榊原）